

指定管理業務評価結果書

1 施設の名称等

(1) 公の施設の名称	旧妹尾銀行林田支店 (PORT ART&DESIGN TSUYAMA)
(2) 指定管理者	所在地 岡山県苫田郡鏡野町古川 8 8 8-1 名称 EKG 合同会社 代表者 飯綱 洋平
(3) 公の施設の所管部署	津山市観光文化部文化課
(4) 指定期間	令和 3 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日
(5) 評価対象期間	令和 4 年 4 月 1 日 ~ 令和 5 年 3 月 31 日

2 施設の利用状況

(1) 利用者数等	9,077 人 (前年度 8,383 人【施設利用 7,438 人 コーヒースタンド 945 人】)
(2) 事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館事業 ・カフェ事業 ・自主企画事業 (展示会) (版画展・ガラス展・現代彫刻/絵画展・陶芸展等) ・前撮り事業 ・イベント事業 ・館内見学 <p>年間利用率 100%</p>

3 収支の状況

(1) 収入 (指定管理者の収入)	総額 13,093 千円 (前年度 16,888 千円) 利用料金収入 201 千円 指定管理料 5,300 千円 自主事業収入 3,737 千円 その他 3,855 千円
(2) 支出 (指定管理者の支出)	総額 15,039 千円 (前年度 16,857 千円) 主な支出 人件費 5,563 千円 光熱水費 986 千円 消耗品費等 474 千円 委託料 (施設管理) 5,032 千円 負担金・公租公課 667 千円 その他 2,317 千円

4 総合評価結果

(1) アンケート調査等の概要	<p>当館へのご意見・ご要望を吸い上げるため、項目別のアンケート用紙を設置し、意見や要望の聞き取りを行っている。また、当館への意見は SNS (HP、Facebook、Instagram、Google Map 等) によるコメントで寄せられることも多いため、普段からチェックするようにはしており返信も行なっている。来館されたお客さまからの要望やご意見を口頭でスタッフが聞くこともあり、内容から、問題・課題抽出や業務改善の種を見つけている。スタッフ間の情報共有も頻繁に行なっている。</p>
(2) 指定管理者の自己評価	<p><総括> 新型コロナウイルス感染症の拡大や長期間の屋根改修工事などにより年間を通じて苦しい運営であったが、国・県の補助事業を活用しながら、現代アート、絵画、ガラスや陶芸といった幅広い分野の芸術を展開し、多様な表現の面白さや価値観の発</p>

	<p>信を行った。</p> <p>また、来館者数を伸ばすため、スタッフの接客能力の向上はもとより、WEB、SNS など様々な手法を活用した情報発信を日々行うとともに、展示会チラシ（DM）のデザイン等にも施設の目的・特徴に配慮しながら、そのブランド力の向上に努めた。</p> <p>課題としては、昨今の物価高騰等による経費の増加や、コロナ禍におけるコーヒースタンドの経営であるが、今後の動向を注視しながら、さらなる経費削減と売上増加、運営体制の改善などの対策を検討していきたい。</p> <p>コロナ禍の中でも、途切れることなく展示会を行ってきた実績は当館の自信に繋がっており、新聞をはじめ、メディア掲載も増加しており、津山に親しまれるアートの拠点として、新しい文化、価値観の醸成をはかるため、今後も活発な活動を継続して行っていきたい。</p>
(3) 市の評価	<p>コロナ禍においても施設のコンセプトを明瞭に打ち出し、指定管理者が有するノウハウを活用した企画展示が年間を通じて行われ、本施設が本市におけるアートの拠点として着実に浸透してきている。</p> <p>また、岡山県等からの補助事業にも積極的にエントリーし、自主財源を確保している点、企画展による高い稼働率や積極的な広報活動など能動的かつ精力的な運営により本市の文化振興に寄与している点は、評価できる。</p> <p>ただ、今年度も引き続きコロナ禍の影響による利用者の減少や社会情勢による物価及び光熱水費の高騰により事業収支に関しては赤字となっている。事業者の経営努力による経費削減にも限界があるが、次年度以降は入館料収入の徴収等による収入増の検討などの収支改善に努められたい。</p>